

## 前回5月12日の例会記録

### 出席の状況

会員数 56名 (内出席免除 3名) 出席者数 43名 欠席者数 13名

出席率 79.63% 前々回訂正 83.64%

欠席者 花房, 位田, 加戸, 笠原, 小橋, 永見, 大賀, 大饗, 竹本, 坪井, 氏房, (平野), (柏野)

### ゲスト

米山奨学生 楊 圩 様

### S.A.A.



平松会員

結婚記念日の花束をいただきまして有難うございました。昨日、久しぶりにカーネーションを届けました。「もう少し生きていてもよいですか」という母の問いに、うなずいて応えました。



丹治会員

先日、次男のMotohiro Tanjiのニット展示会に来て下さった皆様、有難うございました。大勢のお客様にご覧頂き本人も大変喜んでおります。



福元会員

・最近、ささやかなことでも幸せを感じることが出来ます。赤ちゃんのおかげです。感謝を込めてスマイルします。  
・原会員、先日は大変お世話になりました。



高橋(峯)会員

夜遊びが過ぎて扁桃腺が腫れ上がり、38.9度まで熱が出てしまいました。今日は財団の報告があるので無理して出て来ましたが、元に戻るまでにはしばらく時間がかかりそうです。完全復調になれば夜の巷に出かけたいと思いますので、声をかけて下さい。



河田会員

来週は出張の為、親睦旅行と例会に出席できませんのでスマイルします。

以上、5件 21,000円(累計 970,000円)

### 会長報告

昨年ロン・バートン会長の指揮のもと「全ガバナーが財団に寄付する」という目標が達成されました。国際ロータリーでは、これらのお金と米国国際開発庁(USAID)との協力のもと〔国際H2O協力〕international H<sub>2</sub>O collaborationの一環として、今年ガバナーの100以上の村で手押しポンプ式の井戸を掘削し、きれいな水が利用できる人が85%以上になったそうです。その結果、赤痢や下痢などの汚染水による伝染病が減少したほか、ブルーリ潰瘍という病気が激減したそうです。ブルーリ潰瘍というのは初期に発見すれば抗生物質で治るのですが、現地の人たちの間では「これは悪霊によるものだ」と信じられていました。ロータリー会員はガーナの保健局と協力して早期発見に関する教育や治療器具の寄贈を行いました。グローバル補助金を視野に入れた活動の一環として紹介しました。

会長 横山 俊彦



### 幹事報告

1. 地区だよりVol.11、ロータリーの友5月号を配付しております。
2. 4月の友好交流会にご参加の皆様にご参加の費用の精算表を配布しておりますので宜しくお願い致します。
3. 今週の日曜日に家族旅行があります。総勢で33名のご参加となります。集合場所、時間など間違えないよう宜しくお願い致します。

幹事 山田 喜広



### 例会プログラム

#### 地区研修・協議会の報告

##### ○2014-2015年度地区研修・協議会報告(会長部門)

次期会長 小松 忠男

##### ①会員増強の取り組み(地区重点目標)

- ・増やす取り組みについて…全会員に向けて新会員の紹介をしつこく依頼する。  
クラブの紹介パンフレットを配布する。  
野球同好会の試合を通じて新会員を勧誘する。

##### ・維持する取り組みについて

会員満足度向上委員会からのアンケート・聴き取りによりクラブ内での問題点は早期発見早期解決し、クラブの満足感を



高め退会防止をする。老・壮・青のコミュニケーションが取れたバランスの良いクラブとする。

②ロータリーテーマについての取り組み

「ロータリーに輝きを」(Light Up Rotary)

会報はじめ、各種クラブ紹介関係の資料への表示、また各種行事においてはこのテーマを掲げてロータリーの理念を広報し理解を高める。

③ロータリーのスローガンについての対応

クラブの強化に必要な会員増強を強烈に推進・継続する。ポリオ撲滅に対してはクラブ内で完全な理解を得る努力をし、ポリオプラス基金への寄付という形で貢献する。

○2014-2015年度地区研修・協議会報告(クラブ・職業・社会・国際奉仕部門)

次期副会長 岡本 和夫

地区重点目標である未来の夢計画を利用した奉仕活動について、各クラブに対するアンケートに基づいて、9クラブが指定発言を行なった。

震災防災関連

- ・ 防災を青少年とともに考える
- ・ 被災地区とのスポーツ交流試合
- ・ 東北大震災の避難者支援

和食と西洋食の文化を考える

疾病予防(性感染症)

聴覚障害者の支援

長島愛生園での学習

当クラブには、グローバル補助金事業に対する計画の概要の説明が求められ、岡本がクラブの簡単な紹介、今までの国際奉仕活動の内容、疾病予防・教育・環境衛生を主としたプロジェクトチームの立ち上げなど今後の事業の推進計画の概要を説明した。これに対して、橋本讓カウンセラーから申請手続きの簡単な説明と、高梁RCからカンボジアへの学校設立と現状について発言があった。



○2014-2015年度地区研修・協議会報告(幹事部門)

次期幹事 鴨井 利典

①ロータリーデーの実施について

5クラブが発表。「地域の子供や生徒含め500人以上で海岸清掃」「地域の人たちと食卓を囲む“ロングテーブル”」「たなばた祭りを小学校で」「中高生の英語スピーチコンテスト」「美作の棚田の再生を地元高校生と取り組む」「街の清掃活動をしているNPO団体と共同

身近な地域へロータリーを知ってもらう活動。我がクラブとしては新地区補助金プロジェクトの「高校生による岡山の歴史研究フォーラム」がまさにそれに該当する。

…ロータリーを地域に理解させ宣伝する、という目的だがこれはRIから来た突然の方針、活動内容と取り組み姿勢はクラブに任せる。

②会長賞への取り組みについて

4クラブが発表。「毎年受賞しているので積極的に目指す」「過去は結構受賞したので努力はする」「積極的な取り組みはしない。それを目的としたポイントの価値観は無い。クラブとしての取り組み成果が結果として会長賞になっただけのこと。スタンスの違い」

我がクラブとしては会員増強・新地区補助金プロジェクトの広報による公共イメージの向上・財団及び米山奨学会への寄付に取り組み、一つの目標として会長賞を掲げる。

…「会長賞」は功名、手柄では無い。一つの目標として「会長賞」をとらねば良い。受賞はだんだん困難になっている。

③米山奨学生への理解について

5クラブが発表。「奨学生の出身国に偏りがある」「継続事業として受入している」「モンゴルから受入している」「毎年受入し、夜間例会等へも出席している」「中国から受入、積極的に取り組み」

隣国等の既に大国となった国や政治問題を抱える国からの受け入れについては我がクラブからも疑問の声が多少あったし、もっと貧困国からの受入を増やすべきだとの意見もある。

…過去、政治問題による国と国との衝突を救ったのは、実は留学時代に出来た友人であった。そういう国、地域だからこそ奨学生を大切に未来の友好の力とするべきである。政治問題は政治のみで解決せず、そういう力も必要である。

その他

・ロータリークラブ標準定款の変更について

第2条、3条、6条、9条が改正されたのでクラブ細則の変更を検討するべし。

★ Eクラブ(WEBサイト上に参加する形式での例会活動を行うクラブ)なるものがクラブとしてその存在を認められることになった。クラブの細則は、例会場が物理的に存在する現在の方式か、Eクラブかの選択をしておかねばならない。

・年間行事について ・地区大会(10/5)について ・地区予算について ・地区組織について



## ○2014-2015年度地区研修・協議会報告（ロータリー財団部門）

次期ロータリー財団委員長 高橋 峯男

地区重点目標としての ①END POLIO NOW ②ロータリー・ビジネス・カード 以上の2点が主として討議、報告されましたので其の概略を記します。

### ①END POLIO NOW（今こそポリオを撲滅しよう・・・筆者訳）

従来からの運動によりポリオ撲滅一歩手前まで来ていますが、経口ワクチン投与の方法では一部の投与された子供から他の子供にポリオを伝染さすと云う問題が中々解決しません。そこで経口ではなくて注射による方法を取っていききたい。しかし経口方法よりもコストが経口の1ドルに比べて10ドルと10倍に跳ね上がります。今後5年間の総資金が約55億ドルと見込まれ、その内訳として：各国政府関係40億ドル：ロータリー財団5億ドル：ビルゲイツ財団10億ドルの資金予定が組まれているのでロータリーとしても全力を挙げて取り組まねばならない。目安として全世界のロータリアン一人当たり、年100ドルを目標にして協力をお願いしたいとの事です。

### ②ロータリー・ビジネス・カードですが地区全体では訳40パーセントの普及率になっていますが、実際の使用率は非常に少ない結果となっています。未使用の場合は更新されないのでは非積極的に使用してほしいとの事です。個人カードが大半ですが、企業向けのビジネス・カードもあるので会社費用として積極的に所有使用してほしいとの要請がありました。

## ○2014-2015年度地区研修・協議会報告

次期インターアクト委員長 日笠 常信

### 一、議題等 1. 青少年奉仕についての活動予定

カウンセラーから指名により発表

### 2. 提唱するインターアクトクラブとローターアクトクラブの現状と問題点

カウンセラーから指名により、発表

### 二、感想等

1. 青少年奉仕については、それぞれのクラブで地域の実情に応じた取り組みがなされている。事業が比較的うまく行っているところは、県ないし地元自治体など行政の支援を取り付け、学校や地域が取り組みやすい環境を整えた上で、事業を実施しているところが多かった気がする。
2. インターアクトクラブのあるところは全体では少数であり、ローターアクトクラブのあるところは地区全体でも非常に少ない。インターアクトクラブの活動の活発な学校では、学校と提唱ロータークラブの連携がうまく行っている。また、インターアクトクラブ独自の活動に加え、他団体の奉仕活動にも参加している学校が複数あった。ローターアクトクラブは存続そのものが危ない。
3. 提唱するインターアクトクラブの設置校でロータークラブの例会を毎年行っているところもあり、ロータークラブの認知度を上げるためには、有効な方法と思われる。



## クラブ情報

### 2013年～2014年度 国際ロータリー第2690地区 インターアクト地区協議会

2014年4月19日(土)15:30～・4月20日(日)9:00～ 島根県江津市 島根県中央地域地場産業振興センター外  
ホスト校 石見智翠館高等学校インターアクトクラブ ホストRC江津ロータリークラブ

参加 米子松蔭高等学校インターアクトクラブ他15校 岡山西ロータリークラブ他15クラブ

4月19日 15:00 登録受付

15:30 本会議 第37回インターアクト地区大会について等

本年度地区大会は7月26日(土)～7月27日(日)に島根県江津市で開催決定  
ホスト校、ホストロータリークラブは本協議会と同じ

4月20日 9:00 分科会 高校教師及びロータリー各分科会

9:45 本会議 分科会報告・協議

11:00 閉会

当クラブ参加者 地区IA委員 小橋幹雄、IA副委員長 日笠常信



## 例会情報

### 本日のメニュー（5月19日）

あわびのパプール 山椒風味のソースで マッシュルームのスープ

サーモンのポワレ カンキツソース デザート コーヒー パンとバター

### 次回のメニュー（5月26日（ヘルシー和食））

飯物 霞ちらし寿司（鯛 鮪 虹鱒 紋甲烏賊 平貝 鮪 小海老艶煮 玉子焼 いくら醤油漬け  
菜の花 桜人參紅梅煮 姫赤茄子 檸檬 花卉百合根 煎り胡麻 大葉 ガリ 木の芽）  
温物（茶碗蒸し） 赤出汁（浅蜷 洗葱 粉山椒）